稲作管理情報（号外）

－高温に伴う育苗管理対策－

令和４年４月19日
魚沼農業普及指導センター
電話：025-772-1309
FAX ：025-772-9006

【気象情報】

～高温注意！～（4/14日発表（新潟気象台）北陸地方　1か月予報）

向こう１か月（4/16から5/15）の平均気温は高い確率70%で、特に２週目は気温がかなり高くなる見込み

気温　１週目(4/16～4/22)　高い確率３０％
２週目(4/23～4/29)　高い確率７０％
３～４週目(4/30～5/13)高い確率５０％

※高温に関する早期天候情報発令中（4/14日発表（新潟地方気象台）北陸地方）

【管理のポイント】

○ポイント１　浸種水温は10～15℃を厳守！

・浸種水温が高温になる恐れがあるので、酸素不足にならないように浸種５日目以降は（温湯消毒の場合は浸種開始後から）こまめに水を更新し、10～15℃の水温を保つ。
・戸外での浸種は水温が上昇しやすいので、特に注意する。

○ポイント２　は種直後から、育苗ハウス内の温度管理でヤケ苗防止！

・日射が強い日は、育苗ハウス内の温度上昇が著しくなるため、温度をこまめに確認し早い時間から換気を開始する。
・出芽期、緑化期に30℃以上になる時は、必ず換気する
・緑化期の高温・過湿は、細菌性病害の発病を助長するため、昼間の温度は20～25℃をめやすに温度管理を行う。
・硬化期は、昼間の温度が20℃以上の高温にならないようにハウスを十分開放して温度の上昇を防ぐ。また、適正な水管理を徹底する。

【育苗ハウス内の温度管理のめやす】　～温度管理に注意～

育苗段階	終了段階の生育めやす	温度管理		処理日数
		昼間	夜間	
出芽期	出芽長0.5～1cm	30℃	30℃	5～7日
緑化期	第1葉鞘長3.5cm	20～25℃	15～18℃	2～4日
硬化期	苗丈12cm、葉数2.0葉	15～20℃	10℃以上	13～15日